

Meiji
Gakuin
University



明治学院大学

マスコミ関係各位

2015年11月18日

明治学院創設者 ヘボン生誕200年記念トークイベント 「日本を開いた辞書－ヘボン博士と日本語－」 12月3日（木）開催 ※参加無料・事前申込み不要

明治学院では、ヘボン生誕200年を記念し、トークイベント「日本を開いた辞書－ヘボン博士と日本語－」を12月3日（木）に開催します。

ヘボン式ローマ字はなぜ「シ」を「SHI」と表すのか？ 江戸時代の「勉強」はどのような意味だったのか？ ヘボンが幕末につくった辞書『和英語林集成』でローマ字やことばを確認してみると、そこには意外な発見がたくさんあります。辞書はことばの意味を調べるだけでなく、その時代の生活や文化を伝える最高のデータベース。今回のトークイベントでは、明治学院歴史資料館研究員であり東洋大学文学部の木村一（きむら・はじめ）准教授を迎え、学生と来場者の方にも一緒に考えていただきながらローマ字や辞書のことばを解説してゆきます。

当日、会場ではヘボン手書きの辞書の草稿ノート（レプリカ）などヘボンに関する資料展示のほか、『和英語林集成』の復刻版を実際に手にとってご覧いただけます。

ぜひ事前告知ならびに当日取材をご検討ください。どうぞよろしく願いいたします。

今年、2015年は明治学院創設者であるJ. C.ヘボンの生誕200年にあたります。横浜開港とともにキリスト教の宣教医として来日したヘボンは、医師として多くの日本人に医療を施し、1863年には明治学院の淵源である英学塾「ヘボン塾」を開きました。日本語の研究にも力を注いだヘボンは、日本初の本格的な和英・英和辞書『和英語林集成』を編纂し、今も私たちの身近にあるヘボン式ローマ字を考案したことでよく知られています。

■日時：12月3日（木）17:00～18:30（開場 16:30）

■場所：明治学院大学 白金キャンパス アートホール

東京都港区白金台1-2-37 ※お車でのご来場はご遠慮ください。

■申込み：不要／参加費無料 ■定員：100名

■内容：ヘボン生誕200年記念 トークイベント「日本を開いた辞書－ヘボン博士と日本語－」

■講師：木村一（きむら はじめ）

明治学院歴史資料館研究員。東洋大学文学部准教授。東洋大学大学院博士後期課程中途退学。

博士（文学）（立教大学）。専門は日本語学。特に19世紀の日本語研究資料の調査・研究。

編著書に、『図説日本の辞書』（共著 2008年 おうふう）、『みんなの日本語事典』（共編著 2009年

明治書院）、『和英語林集成の研究』（単著 2015年 明治書院）など。

■共催：明治学院歴史資料館・明治学院大学

■お問合せ：明治学院大学総合企画室広報課 TEL 03-5421-5165 Email koho@mguad.meijigakuin.ac.jp

お問い合わせは… 明治学院大学 総合企画室広報課

担当：染川、田村

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37 Tel:03-5421-5165(直通) Fax:03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp http://www.meijigakuin.ac.jp